

チャイルドシート使用で、2002年から年1子どものうち、大人の座状況の今年の全国調査回実施。今年は4月20日るシートに座っていたので、鳥取県内の使用率がから同30日まで全国10が35・5%（全国平均22全国で最も低かったこと0カ所で6歳未満の計1%）、大人用シートベルが26日までに分かった。万2941人を対象に調トを着けていたのが22%

鳥取県、4度目最下位

使用3割止まり

使用率は31・5%にとどべ、県内では2カ所のシ（同7・9%）だった。まり、全国平均の58・8 ョッピングセンターで2 保護者の抱っこ（6%）%より約27%低かった。00人を調査した。 やチャイルドシートにそ警察庁と日本自動車連 県内でチャイルドシー のまま座っていた（5%）盟（JAF）の合同調査 トを使用していなかった ケースもあった。

チャイルドシート

JAF交通環境部によると、使用率が高かったのは宮城（76%）、徳島（73・5%）、広島（73・4%）など。鳥取県は03、06、09年に続いて4度目の最下位となった。

県警交通企画課は「県内では1世帯で複数の車を所有するケースが多く、チャイルドシートを付け替えない人がいるのでは」と推測。「子どもを守るにはチャイルドシートしかない。短い距離でも必ず使用してほしい」と呼び掛けている。